

さざ波の会

「さざ波の会」は、ひきこもり当事者の親の会です。
6年ほど前から自主的に集うことになった会です。年に数回開催しております。

「会の趣旨」

ひきこもりの子を支える側の家族がコンディションを整え、ゆとりを持つことが必要です。
この「ささやかな集い」は、リラックスして、日頃の悩みや心配事を気兼ねなく話し合える場です。仲間同士で情報を共有し、社会から孤立しないようにして行きましょう。そして、私たちは自分の生活を楽しむことができるようにして行きましょう。

そうすれば、その心のゆとりが、さざ波のように、静かに少しずつ本人へと伝わっていくことでしょう。

①取り組みの内容

お互いの近況を報告し合っております。

会のメンバーは当事者の母親 13 名（概ね 60 代～70 代）

ひきこもりの状態は皆それぞれ異なっております。

また、当事者だけでなく家族も辛い思いをして、生活の不便さを強いられています。

日常の生活状況や悩みを話すことで、自分自身に気づきがあります。

仲間の具体的な話を聞くことでも気づきがあり、共感したりします。

近況報告をするだけの集いですが、沢山の気づきがあり、気持ちも楽になっていると思います。

②活動をする中での課題

1. 家族会の支援

- ・集う場所の提供

現在、さざ波の会は自主会のため、公の支援はありません。

定例会ができる場所を提供していただければ、メンバー以外の方も参加可能となります。

- ・ひきこもりサポーターや CSW の方が家族会に参加し、福祉サービスなどの相談支援をして頂きたい。

2. 親亡き後の心配

親も子も高齢化してきており、8050 問題の一步手前に来ております。

- ・ひきこもりに特化した相談窓口と専門の相談員の早期設置を願います。
- ・相談などに出て来れない当事者が社会から取り残されないシステム作りが必要と思う
(例) 親が登録→継続した見守りシステム

